

# ‘愛媛果試第48号’の品種特性

愛媛果試第48号は、3月～4月の柑橘品種が少ない時期に出荷できる愛媛県オリジナル品種。露地栽培が可能であるが、収穫時期が遅いため、凍害を受ける地域では注意が必要。

## 品種概要

- 来歴 平成17年に交配 愛媛果試第28号×甘平
- 品種登録 令和4年6月9日に品種登録
- 品種特性 果実は250g程度の短卵型、じょうのう膜は薄く、肉質は柔軟多汁、種子はない。成熟期は3月～4月。
- 栽培適地 凍害の危険性があるため、冬季温暖な地域。
- 商標 紅プリンセス  
県の商標で、愛媛果試第48号のうち一定の基準を満たしたもので使用可能。使用する場合は事前に申請が必要。

### 【主な基準】

- ・糖度12度以上、クエン酸1.2%未満  
※非破壊での糖酸分析必須
- ・収穫開始3月1日以降、販売開始3月15日以降  
※毎年協議



愛媛果試第28号(紅まどんな)の「ゼリーのような食感」と甘平の「濃厚な甘み」が特長

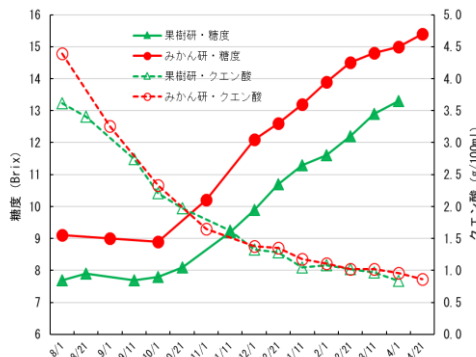


図 ‘愛媛果試第48号’の糖酸の推移

クエン酸は1月から1.0g/100ml程度となるが、糖度が高まる3月以降が収穫適期。

## 栽培上の問題点

- かいよう病  
かいよう病に対して罹病性。樹勢が強いため、着果量の少ない樹では夏秋梢が発生しやすく、防除が必要。



- 果皮障害・裂果  
・2月頃まで果皮障害はあまりみられないが、収穫期の3月からクラッキングが発生するため、収穫適期の見極めが重要。  
・甘平のような夏秋季の裂果はないが、果皮が薄いため微裂果が発生しやすい。



露地栽培が可能であるが、クラッキングが発生する。冬季温暖な年は発生時期が早まるので注意。



秋季に乾燥状態が続くと10月以降だららと微裂果が発生する。仕上げ摘果後の裂果は、収量減につながるため、過乾燥に注意。